

鳥羽市・サンタバーバラ市学生交換派遣事業

ホームステイ体験記

総務課秘書係 ☎(25)1105



サンタバーバラ市長との記念写真

市内の中学生4人が7月26日～8月6日にかけて姉妹都市サンタバーバラ市を訪れ、8月8日～17日にはそれぞれの家庭がサンタバーバラ市の中学生を受け入れました。すばらしい体験をした中学生のみなさんにホームステイ先での体験について感想を語っていただきました。

「サンタバーバラと鳥羽のつながりに感謝」
鳥羽東中学校1年 木下太陽

僕がサンタバーバラに行くと一番驚いたことは、会ったらずくに話しかけてくれたことです。僕にはできないので、早速自分との違いを感じました。まだ不安だった僕に、冗談を言ったり話しかけたりしてくれました。徐々に慣れ、僕も自分から話しかけるようになっていきました。また、

アレックスのお父さんが運動好きで、ゴルフやテニスをしてくれました。テニスでは、先生や友だちとの交流もあり、積極的に関わってもらい、楽しく過ごせました。

サンタバーバラは治安もよく、周りの人もとても親切にしてくれたので、僕の不安もいつの間にかなくなっていました。フィエスタでは、スペインの雰囲気も感じられ、みんなで盛り上がり、楽しかったです。

鳥羽にアレックスが来た時には、以前から知っているかたがたに助けてもらい、日本の伝統文化を体験してもらいました。習字や茶道、太鼓と一緒にし、狂言も見てもらいました。また、男子4人で、菅島の祖父母の家にも行きました。夜は遅くまで騒いでいたので、祖父母には悪かったです。でも、アレックスが、「菅島で見た景色がとてもすてきだった」と後で話してくれたので、祖父母には悪かったです。行ってよかったと思いましたが、そういうえば、アレックスは菅島で夕日を見ながら、写真を何枚も撮っていました。今夏は本当に暑くて、アレックスは疲れていたと思います。途中体調を心配していました

が、「また鳥羽に來たい。家族と一緒に來たい」と言ってもらえたのでよかったです。

今夏、たくさんのかたのお世話になって、改めて人とのつながりに感謝しました。そして、25年も続いているこの事業のおかげで、僕は旅行でできない多くの経験をさせてもらうことができました。この出会いに感謝し、これから積極的にさまざまな経験をし、人とつながっていくことを大事にしたいです。



「サンタバーバラでの体験」
長岡中学校2年 辻 風羅

僕は、初めてのサンタバーバラで、英語が話せるか心配でした。交換留学でお世話になるニコラスファミリーに会ったとき、英語で話しかけられたので、とても緊張しまし

た。しかし、「はじめまして」と日本語でも話してくれました。英語が少ししか話せないので、分かりやすいよう単語で伝えてくれました。

サンタバーバラに着いたときは夜だったので、とても寒かったです。家に着いたら、窓の開け方やシャワーの使い方も分かりやすく教えてもらいました。2日目も緊張し、「フィエス・ノー」しかしゃべれませんでした。

3日目からは、自分の思うことを話せました。簡単な言葉を理解できました。ピザパーティーのとき、ニコラスやアレックスと発音の確認もしました。ニコと会話するときは、文法はできなかったけど、知らない単語をいろいろ学ぶことができました。

家では、レゴやすごろくをしました。ジュリエットとニコとマールンさんと楽しく遊べました。犬の散歩中にニコと話すのは楽しかったです。僕が日本から持ってきたお土産をとて喜んでくれました。家族の人はとても優しく、「おなかすいてる？」などと気遣ってくれました。言語が少しだけしか通じない中でも楽しかったです。

最後の日には、サプライズ

ということ、ユニバーサル・スタジオに連れて行ってもらいました。日本とまったく違いました。昼になったらご飯を食べました。初めて自分で注文し、うまく注文することができました。英語が通じると自信ができました。ほめてもらいましたし、会話が特に楽しかったです。アメリカで本物の英語にふれることができ、もっともつと話したくなりませんでした。僕が話せる英語は少ないので、英語をしっかりと勉強してうまく話したいです。

とても楽しく過ごせた10日間でした。このサンタバーバラの交換留学に参加でき、良い体験ができてよかったです。



「初めての海外」
皇學館中学校3年 小久保 恵有

アメリカに行くことを実感

で、鳥羽駅を出発した時は、遠足気分でした。アメリカに着いても、アメリカに来たという実感はなく、各ホストファミリーの家にいき、やっとアメリカに来たという実感がわかりました。日本語は全く通じないし、すごいスピードで話しかけてくる妹たち。全く聞き取ることができず、うなずくことしかできませんでした。

サンタバーバラに行つて一番楽しかったことは遊園地みたいなところに行ったことです。日本の遊園地とは違い、安全面でも心配でした。ぐるぐる回るアトラクションばかりで酔ってしまったけれど、とても楽しかったです。また、サンタバーバラのお祭

りであるフィエスタの時に、みんなで紙がずが入った卵のからを割りあったのが一番おもしろかったです。

家に帰ってからは、毎日妹たちとゲームをしました。ルールを説明してくれるけど、全然理解できない私。見よう見まねでやっていました。私の英語は聞き取ってもらえることが少なく、自信がなくなることもあったけど、妹たちがたくさん話しかけてくれたおかげで楽しかったです。

ウエルカムプールパーティーでは、ソーランを披露しました。不安だらけの中踊ることになったので、緊張していました。振りを間違えてしまったけれど、楽しくできてよかったです。その後のピザパーティーでは、大きいトランポリンを跳んだり、工作の魚を作ったりしてとても楽しかったです。

サンタバーバラに行つて、交換学生とうまくいかない部分もあったけど、他の子たちとはたくさん話すことができたり、一緒に行った日本の3人も仲良くなれたのでとても良かったです。今でもまだ、連絡を取り合っている子がいっぱいいます。とても良い経験になりました。

「サンタバーバラに行つて」
鳥羽東中学校3年 野瀬友詩

初めての飛行機、初めての海外ということ、不安もありましたが、それ以上にワクワクしていました。

サンタバーバラに行くには移動時間がすごく長く、とても遠かったです。サンタバーバラに着いて最初に驚いたことは、家が大きくとも広いことです。私はオリーブアというとても笑顔のかわいい女の子の家にお世話になりました。オリーブアの家には犬と猫がいて、動物の大好きな私はとてもリラックスして過ごすことができました。生活のスタイルや食べ物に戸惑いや不安もありましたが、お父さんもお母さんもやさしく親切にしていたのでとても楽しかったです。

サンタバーバラでは、ラベンダー畑、デンマーク村、ダチヨウ見学、コンサート、遊園地、シヨッピングなどいろいろな所に案内していただきました。ウエルカムプールパーティーでは、たくさんのかたの前で習字を披露しました。緊張してあまり上手にかけませんが、とても良い経験になりました。特にフィエ

スタは、日によってシヨールパレードがありとても盛大でした。たくさん馬のパレードはびっくりしました。とても楽しくてあつという間に10日間が過ぎてしまいました。もっとサンタバーバラに滞在していたかったです。

言葉はあまり分らないけど、温かく迎えてくれたかたがたくさんいました。とても親切で優しいホストファミリーに出会うことができました。私は3年後オリーブアに会うためにもう一度サンタバーバラに行く約束をしました。今回交換留学する私のために、たくさんのかたに協力していただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

